

年表 2 第 1 期「公民教養講座」年表(1954年－1962年)

会場:公民館講堂

毎月一回行われたものから主なものを抜粋

年	世界 - 日本 - 杉並の動き	連続講座「世界の動き」 安井館長・実施月・テーマ	ゲストの講演 実施月・講演テーマ・講師名
1954 昭和 29	ジュネーブ会議(インドシナ休戦協定) ビキニ被災事件 水爆禁止署名運動開始	5月「ジュネーブ会議の意義」 9月「岐路に立つ世界情勢」	4月「日本への反省」(谷川徹三) 5月「原子の話」(朝永振一郎) 9月「危機に立つ日本経済」(大内兵衛)
1955 昭和 30	ヘルシンキ世界平和大会 バクダート条約成立 アジア・アフリカ会議 第1回原水爆禁止世界大会(広島) 『杉並区史』刊行	7月「ヘルシンキより帰って」 9月「対米ソ関係の新局面」	5月「原子力の平和利用」(武谷三男) 6月「我が国の食糧問題」(大谷省三) 10月「主婦の発言」(鶴見和子)
1956 昭和 31	日ソ共同宣言(ソ連と国交回復) スエズ動乱、ハンガリー暴動 日本、国連に加盟 杉並区立中学校 PTA 協議会発足	3月「ソ連は変わったか」 5月「軍縮と原水爆禁止」 9月「日ソ交渉」 10月「スエズと砂川」 11月「戦争と世論」	1月「ヨーロッパより帰って－婦人の生活を見つめつつ－」(蟬山政道) 5月「進歩と貧困」(大河内一男) 10月「世界経済の動き」(美濃部亮吉)
1957 昭和 32	国際地球観測年はじまる 茨城県東海村原子炉点火 第1回高円寺阿波踊り開催	2月「原水爆戦争と日本」 3月「安全保障条約の問題点」 4月「人権と平和」 8月「第3回原水爆禁止世界大会」 11月「科学と政治の谷間」	3月「歴史と人間」(阿部知二) 4月「スエズ問題について」(大内兵衛) 9月「道徳教育の問題をめぐって」(中野好夫) 11月「米ソのミサイル競争」(田中直吉)
1958 昭和 33	中東危機 欧州通貨協定	1月「カイロより帰って」 8月「中国と国際政治」 9月「私の見たソ連」 10月「核実験再開と安保条約の改訂」	2月「沖縄の教訓」(平野義太郎) 8月「中東問題と国際連合」(入江啓四郎) 11月「警職法と基本的人権」(羽仁五郎) 12月「日本とフランス－外遊の感想」(深尾須磨子)
1959 昭和 34	児童権利宣言 杉並区町会連合会結成 杉並区総合文化祭開催	1月「米ソの平和競争と日本の立場」 4月「安保条約と日本国憲法」 8月「広島の声の世界へ」 9月「世界の雪どけは始まった」 11月「国際連合の組織と役割」	3月「中国は国際情勢をどう見るか」(蟬山芳郎) 4月「インド見たまま」(チベット問題を含めて)(植田捷雄) 6月「十代の子どもの気持」(古谷綱武) 8月「日本経済の動向」(美濃部亮吉)
1960 昭和 35	日米新安保条約調印 安保阻止国民運動 アフリカ諸国相次いで独立 第15回国連総会、東西首脳の出場 と東西対立の激化 区による婦人学級始まる 社会教育主事※誕生	1月「1960年の展望」 2月「アフリカ独立国の問題」 3月「最近の中国とソ連」 6月「真の日米友好への道」 10月「東西の対立と国連総会」	1月「日本の動き」(白石凡) 4月「産業の近代化とその労働者への影響」(長洲一二) 5月「子どもの進学・就学の指導をどうするか」(金子孫市) 8月「親と子」(戸川エマ) 11月「青少年の教育」(遠山茂樹)
1961 昭和 36	中立国首脳ベオグラード会議 第1回東京国際見本市 ケネディ大統領 人工衛星第一号	2月「ケネディ政権と中国問題」 4月「変わりゆく英連邦」 8月「人工衛星と原水爆戦争」 11月「国連と世界平和」	8月「アメリカ婦人運動」(原水爆禁止世界大会米代表ミルドレッドサイモン女史代理ラス・ニクソン) 9月「最近の世界情勢と日本の役割」(林克也) 11月「国連と婦人」(藤田たき)
1962 昭和 37	米ソ対立 キューバ封鎖事件 杉並清掃工場問題起こる 杉並区文化団体連合会発足	1月「フルシチョフ・毛沢東との会談」 2月「米ソ関係の雪どけは来るのか」 3月「核実験と米国の態度」 6月最終記念講演 「歴史の大河は流れつづける」	2月「日本経済の動向」(美濃部亮吉) 5月「変わりゆく農村」(大谷省三) 6月映画「ヒロシマ」上映

※社会教育主事は、都道府県および市町村の教育委員会の事務局に置かれる専門的職員で、社会教育を行う者に対する専門的技術的な助言、指導に当たる役割を担う。文部科学省 2010(平成 22)年

受講者の講座内容記録は 安井家に保存されている